



国立ハンセン病資料館2017年度秋季企画展
「隔離のなかの食 一生きるために 悦びのために」付帯事業
講演会

ハンセン病療養所の**食**の現在

—国立療養所邑久光明園から—

ハンセン病療養所で暮らす回復者の平均年齢は、およそ85歳。隔離が解かれた後も、高齢に加えてハンセン病の後遺症などさまざまな理由で、外出などが難しくなっています。

そうしたなかでの毎日の楽しみのひとつが「食」です。美味しいものを味わい、香りを楽しみ、会話を弾ませることは、大きな悦びなのです。そのため各療養所では、より豊かな食の提供を目指してさまざまな試みがなされています。

今回は、国立療養所邑久光明園（岡山県瀬戸内市）の栄養士の皆様をお招きし、現在の邑久光明園の取り組みなどを中心にお話いただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

2017(平成29)年 **11月23日** (木・祝日) **14:00-15:30** (13:30開場)

講師 **桜井知子さん** (元国立療養所邑久光明園栄養管理室長)
川上佳子さん (国立療養所邑久光明園栄養管理室)
井上 彩さん (国立療養所邑久光明園栄養管理室)

会場 国立ハンセン病資料館 1階 映像ホール

定員 150名 (事前申し込み不要・先着順)

参加費 無料

国立ハンセン病資料館

TEL 042-396-2909 FAX 042-396-2981
〒189-0002 東京都東村山市青葉町4-1-13
URL <http://www.hansen-dis.jp/>

アクセス

- ・西武池袋線 清瀬駅から西武バス「久米川駅北口」行
- ・西武新宿線 久米川駅から西武バス「清瀬駅南口」行
いずれもバス停「ハンセン病資料館」下車、徒歩すぐ
- ・JR武蔵野線 新秋津駅より徒歩20分
- ・関越自動車道 所沢I.C.より車で30分 (駐車場あり)